（1）　明治20年創刊　第37934号（第３種郵便物認可）　THE JOMO SHINBUN　2000年（平成12年）11月14日（火曜日）（日刊）

市長選 市議選 候補の主張 政策重視へ 公報

―伊勢崎市議会・改革クラブの４人―

政策本位の選挙の実現に向け、伊勢崎市議会の有志でつくる改革クラブ（佐藤美代表、四人）は十三日までに、選挙公報を発行する条例案をまとめた。市民選挙と市議会の立候補者の主張を掲載し、市民に投票の判断材料としてもらうのが目的。県内市町村で選挙公報を発行しているのは二町だけで、実現すれば十一市で初めて。来年二月に予定されている市長選で採用できるよう、十二月定例会への上程を目指している。議員発議による条例制定は珍しく、動向が注目される。

立候補者の経歴や政策を掲載する選挙公報は、公職選挙法で国政選挙と知事選では発行が義務付けられているが、県議選や市町村議選では「発行できる」と規定されている。県選挙管理委員の調査によると、県議会を実施しておらず、七十二村でも吉井町と大泉町だけにとどまっている。

改革クラブの条例案は国政選挙などと同様に発行を義務付けている。掲載内容は氏名、経歴、政見、写真のほか、告示から投票日の前日までに市内全戸に配布、市選挙管理委員会が発行責任者となる。

伊勢崎市は現職の高橋一郎市長が今期限りの退職を表明、来年二月に新人による市長選が行われる通り。すでに複数の陣営が発足準備を始めているが、地縁、血縁などによる旧態依然の選挙戦も予想されることから、改革クラブは「選挙公報は市民に選挙の争点や候補者の政策を知ってもらう絶好の機会」と訴えている。

佐藤代表は「候補者の市政の関連道・渋川伊香保インター間の開通、渋川伊香保インターにおける延長約八十㌔の有料道路「上信自動車道」建設計画で、整備区間・五㌔の一部が十五日、国交省長野原町に起工式を行う。今後の住民の生活基盤となる二十一世紀の市の方向を決める大事な選挙。ぜひ実現したい」と改革クラブは議員発議を込めている。

旧態依然の選挙戦も予想されている一方、若者を中心に「選挙公報を発行すべき」との声が上がっていた。選挙公報の発行は市民により多くの情報を提供することで、政策が争われる選挙とするとともに、政治離れを防ぐために企画、全国の自治体を調査するなど、準備を進めてきた。

上信自動車道 あす工事着手

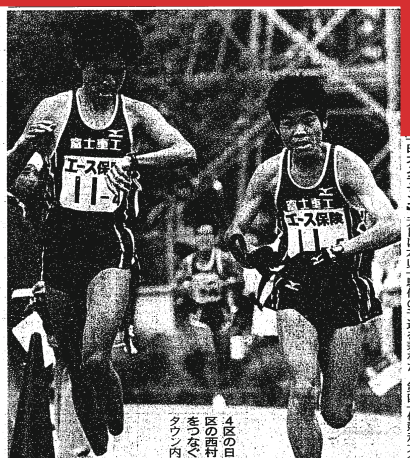
長野原の300区間

吾妻郡内を横断し、渋川市の関越道・渋川伊香保インターと長野原町に至る上信自動車道（一般国道145号）の付け替え部分。同ルートの着工は初めてとなる。

着工は、年内にも水没世帯への補償基準が提示されるためもので、施工主体の同省八ツ場ダム工事事務所が「上信道は八ツ場建設の工事用道路として使われ、今後の住民の生活再建促進期成同盟会を設立して、関係機関への陳情活動などに取り組む。

富士重工ニューヤー駅伝 決めた

【千葉＝須藤拓記者、山田カメラマン】元日に本県・駅伝の予選を兼ねた、第四一回実業団対抗駅伝大会（７区間、80㌔）で、十五日に開かれる議会の上程には議運の許可が必要とされ、他会派の対応が注目される。



4区の日向選手から5区の西村選手にたすきをつなぐ＝千葉ニュータウン内コース

きょうの紙面から

自民各派の動き活発化 ❷❹

県民党の加藤元幹事長の森首相退陣要求を受け、党内各派それぞれが会合を開き、加藤、山崎両派は結束を確認。主流派は事態の早期収拾を図る構え。

JR運賃表示に誤り ❸⑯

JR東日本は、管内の券売取り扱い0区間で運賃表示に誤りがあったと発表。実際の運賃より高く表示したのは145区間で、新町駅（高崎線）でも同駅から笹識駅（川越線）間の運賃を1470円高い1450円と誤記していた。

組み換えコーナーを検出（3）

APEC閣僚会議が閉幕（5）

手集計の中止求め初審理（5）

比大統領の弾劾裁判決定（5）

東証が一時900円超す下落（7）

上毛社旗サンデン初V（19）21

高崎の大山さん絶望か

現地対策本部 「犠牲者最大で159人」

オーストリアのケーブルカー火災

【カプルン（オーストリア中部）13日共同】オーストリア・アルプスのキッツシュタインホルン山（三、〇二三㍍）で十一日午前九時半（日本時間同日午後五時半）に発生した山岳ケーブルカー火災で、現地対策本部は十三日の会見で、火災を起こした車両に日本人十人が乗っていたと発表するとともに、犠牲者が最大で百五十九人にとどまる見通しを明らかにした。高崎市居町、人材派遣会社サンシュアーテックス社員、福島県猪苗代町清水、金日本スキー連盟ジュニアモントレーター、出口智幸さん（当時三四）＝埼玉県出身＝が含まれている。

【関連記事＝2、3、17面】

ケーブルカー事故の犠牲者数としては欧州で過去最悪で、海外旅行中の日本人が巻き込まれた事故としても異例の大惨事となった。

ケーブルカーは二両編成。ほぼ満員の乗客を乗せてふもとの駅を出発、トンネルの入口から約六百㍍の地点で火災が発生した。

大山さんの遺体を収容した長野県警によると、二両目の車内で見つかった。

大山さんのほかにケーブルカーに乗っていたとみられる日本人は、長野県のスキーメーカー主催のスキーツアーに参加していた九人。福島県猪苗代町清水、金日本スキー連盟ジュニアモントレーター、出口智幸さん（当時三四）＝埼玉県出身＝が含まれている。

オーストリア国営テレビは十二日朝までに、三十一人の遺体を収容したと報じた。現地対策本部は遺体の損傷がひどく、必要な場合はDNA鑑定を行うとしている。

大山さんの自宅には日本から捜査員が派遣され、歯科医師の資料などを調べ、遺体の確認作業を進めている。

ケーブルカー事故の原因は不明だが、車両の電気系統がショートした可能性もある。

オーストリア検察当局は、車両の電気系統がショートした可能性もあるとの見方を示している。

空き店舗貸します

来年３月から前橋 初のチャレンジショップ

前橋中心商店街振興組合（荻原木博一理事長）と市民街づくり組織のコムケット（大橋慶人代表）は十三日、商店経営を目指す人などを対象にした空き店舗貸し出し事業「チャレンジショップ事業」を、来年三月にスタートすると発表した。また、独立に備え五年内外を限り、共益費・光熱費込み二万円、共益費込み三万円、共益費込み三万円、共益費込み三